

ホームページ <http://www.hiroringi.or.jp/>

お知らせ <<Information>>

- 1 令和3年度定期総会の開催について
- 2 呉地区血液研修会
- 2 2020年度 広島県臨床検査データ標準化事業報告会
- 3 血液部門研修会
- 3 第1回 総合管理部門研修会
- 4 令和3年度 広臨技 生涯教育講座のご案内
- 5 新型コロナウイルス感染症の積極的疫学調査における検体提出について
新型コロナウイルス感染症に関する自費検査を提供するものに対する協力要請等について
日臨技よりメール不達に関するお知らせ
- 13 令和3年度定期総会資料

報告 <<Report>>

- 6 第23回 検査部長・技師長連絡会議 報告
- 7 第40回 精度管理向上研修会 報告
2020年度 第5回理事会

令和3年度定期総会の開催について

標記総会を下記のとおり開催いたします。

4月20日(12:00)の基準日に在籍される正会員は、総会資料に同封してお知らせします 新たなIDと仮パスワードで広臨技ウェブサイト会員に登録されています。

その 新たなIDと仮パスワード を使用して、広臨技ウェブサイトログインして出席の登録または議決権行使をしていただきますようお願いいたします。

詳しくは、5月1日に事務所より発送予定の総会資料をご覧ください。

何卒、ご協力を宜しく願います。

日時 令和3年6月12日(土)

表彰式 15時00分～15時30分

総会 15時30分～17時00分

場所 広島市立広島市民病院 10F 講堂 広島市中区基町7-33 TEL(082)221-2291

第 1 回呉地区血液研修会

開催日時：2021 年 5 月 20 日（木）18：00～19：30

開催方法：Web 研修会（Webex 使用）

生涯教育：基礎-20 点

演題 1. 研修会・学会発表のためのプレゼンテーションの作成方法

木村 充 技師 中国労災病院

研修会や学会発表で作成しなければならないプレゼン資料。パワーポイントでの作成のポイントを解説します。

呉地区以外の方も気軽に視聴してください。

申込方法：広臨技ホームページより事前参加登録をお願いします。最後に予約ボタンを押してください。

参加希望の方は、広臨技 WEB サイトの会員登録が必要です。未登録は事前登録ができません。未登録の方は、こちら <https://www.hiroringi.or.jp/mem-reg/> から会員登録をお願いします。

申込期間：2021 年 5 月 6 日（木）～2021 年 5 月 16 日（日）23:59 まで

レポート入力期間：2021 年 5 月 20 日（木）19：30～2021 年 5 月 25 日（木）23：59 まで

担当：呉地区理事

2020 年度 広島県臨床検査データ標準化事業報告会

開催日時：2021 年 5 月 29 日（土）14：00～

開催方法：Web 研修会（Webex 使用）

生涯教育：専門 20 点

1. 2020 年度 血液部門標準化事業報告

梶原 享子 技師（広島大学病院）

2. 2020 年度 臨床化学部門標準化事業報告

丸山 恭平 技師（厚生連 広島総合病院）

吉岡 麻衣 技師（地方独立行政法人 広島市立病院機構広島市立広島市民病院）

申込方法：広臨技ホームページより事前参加登録をお願いします。

参加希望の方は、広臨技 WEB サイトの会員登録が必要です。

未登録の方は会員登録をお願いします。【広臨技ホームページ】<https://www.hiroringi.or.jp/mem-reg/>

申込期間：2021 年 5 月 6 日（木）～2021 年 5 月 19 日（水）23:59 まで

レポート入力期間：2021 年 5 月 29 日（土）19：30～2021 年 6 月 4 日（金）23：59 まで

担 当：広島県臨床検査データ標準化委員会 委員長 森本 隆行

問合せ先： 電話番号 082-257-5550

Mail tm1207@hiroshima-u.ac.jp

血液部門研修会

開催日時：2021年6月5日（土）14:30～17:00

開催方法：Web研修会（Webex使用）

配信場所：広島赤十字・原爆病院

生涯教育：専門-20点

演題：令和2年度広島県精度管理調査報告

講師（血算）：塔村 亜貴 技師 広島赤十字・原爆病院

講師（血液フォト）：岡田 卓也 技師 JR広島病院

演題：CBC測定装置を使いこなそう！～各メーカーの良いところ不満なところ～

講師（シスメックス編）：河井 真子 技師 広島市立広島市民病院

講師（コールター編）：広実 早苗 技師 尾道市立市民病院

講師（シーメンス編）：岡田 未来依 技師 広島総合病院

講師（アボット編）：又賀 史織 技師 広島市立安佐市民病院

申込方法：

下記の事前参加登録をお願いします。

URL：<https://www.hiroringi.or.jp/>

※本研修会に参加するには広臨技WEBサイトの会員登録が必須になります。

未登録の方は事前登録できません。URL：<https://www.hiroringi.or.jp/mem-reg/>

申込期間：2021年5月7日（金）～5月27日（木）まで

レポート入力期間：2021年6月5日（土）16:30～6月13日（日）まで

担当：臨床血液検査部門

第1回 総合管理部門研修会

開催日時：2021年7月17日（土）13:30～16:00

開催方法：Web研修会（Webex使用）

配信場所：医療法人翠清会 梶川病院 2Fホール

生涯教育：専門-20点

演題1：採血手技による検査結果の違い（仮）

～標準採血法ガイドラインを参考にして～

講師：兼本 勝利先生（積水メディカル株式会社）

演題2：臨床検査技師による臨床研究

～倫理、研究デザインとバイアスについて～

講師：古賀 秀信先生（株式会社麻生飯塚病院 臨床研究支援室）

演題3：臨床検査と危機管理に関するポイント

～安全保障に関する仕組み～

講師：石井 奨先生（元防衛大学 講師）

申込方法：広臨技ホームページより事前参加登録をお願いします。

※本研修会に参加するには広臨技 WEB サイトの会員登録が必須になります。

未登録の方は事前登録できません。 URL：https://www.hiroringi.or.jp/mem-reg/

申込期間：2021年5月28日（金）～7月4日（日）まで

レポート入力期間：2021年7月17日（土）～7月22日（木）まで

担当：総合管理部門

令和3年度 広臨技 生涯教育講座のご案内

早春の候、皆様方にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

生涯教育講座は多方面にわたる内容となっており、各分野における専門の先生方に講師をお願いし、わかりやすく解説していただきます。今年度は、ライブ配信を4回、オンデマンド配信を4回行います。修了証書の取得を目指す方はぜひご参加ください。（日臨技の各種認定試験の受験資格には修了証書が必要です。）

1. 生涯教育講座予定（基礎：20点）

第1回 「ラオス農村部における妊産褥婦の現状と昆虫食」

山陽女子短期大学 臨床検査学科 椋 清美技師

第2回 「COVID-19 感染症の診断と治療」

県立広島病院 呼吸器内科・主任部長 石川 暢久先生

第3回 「遺伝性腫瘍について ～乳癌診療を中心に～」

JA 広島総合病院 乳腺外科部長 梶谷 桂子先生

第4回 「アスリートのメディカルチェック ～臨床検査から読み解く！～」

広島大学病院 リハビリテーション科 牛尾 会先生

2. 日時：

	ライブ配信	オンデマンド配信
	18:30～19:30*	17:00～21:00**
第1回	7月8日（木）	7月15日（木）
第2回	9月9日（木）	9月16日（木）
第3回	11月25日（木）	12月2日（木）
第4回	1月13日（木）	1月20日（木）

*講師により講演時間が短くなる場合や延長する場合がありますのでご了承ください。

**20:00までに視聴を開始してください。

3. 受講料：無料

4. 生涯教育点数付与について：聴講後のレポート（約200文字）提出が必須となっています。

5. 受講方法：Cisco Webex を用いた配信となります。6月1日以降、受講者の方へ接続方法などについてご案内をいたします。
6. 申し込み方法： 広臨技ホームページイベントカレンダーの **5月6日【受講者募集開始日】令和3年度広臨技生涯教育講座** をクリックした後、参加登録をお願いいたします。 URL：<https://www.hiroringi.or.jp/>
7. 申し込み期間：令和3年5月6日（木）～令和3年5月31日（月）23：59まで
8. お問い合わせ先：syougai@hiroringi.or.jp（生涯教育委員会専用 E-mail アドレス）

新型コロナウイルス感染症の 積極的疫学調査における検体提出について

令和3年3月31日付けで厚生労働省健康局結核感染症課長より一部改正の要請がありました。改正内容は厚生労働省 HP の下記 URL よりご参照ください。
URL：<https://www.mhlw.go.jp/content/000764303.pdf>

新型コロナウイルス感染症に関する 自費検査を提供するものに対する協力要請等について

新型コロナウイルス感染症に関する、社会経済活動の中で本人等の希望により自己負担で実施する検査（自費検査）の適正な実施を図り、もって感染症のまん延の防止等を図るため、[自費検査を提供する者等が講ずるべき措置](#)が厚労省 HP に記載があります。ご確認ください。

日臨技よりメール不達に関するお知らせ

2020年3月30日付けでありました日本臨床衛生検査技師会からの事務連絡を掲載します。

現在、日臨技ならびに都道府県技師会より会員の皆様にメールを配信した際に不達となる事例が多数おきております。

不達の原因としては、スペルミス等の誤ったメールアドレスの場合、受信側で添付ファイル容量制限する場合、受信側がキャリアメールアドレスの場合、施設側のセキュリティで拒否される等多岐にわたり、その特定は難しくなっております。

現状、キャリアメールアドレスへの不達率をもっとも高く、会員情報にご登録いただいているメールアドレスがキャリアメールアドレスの場合、添付ファイル容量制限や PC からのメールを拒否する設定もありますので、キャリアメールアドレスから職場共有アドレスではない、普段お使いの個人メールアドレスにご自身の会員ページから登録変更をお願いします。

第 23 回 検査部長・技師長連絡会議 報告



令和3年3月21日(日)に第40回広島県臨床検査精度管理向上研修会に先立って、第23回検査部長・技師長連絡会議がWeb開催されました。講師には富士フイルム和光純薬株式会社 中国営業所 西川敦子先生をお招きし、「ALP、LDのIFCC法とは」～ALP、LDのIFCC法処方への切り替えに向けて知っておきたいこと～と題して講演して頂きました。まず酵素項目の標準化の流れを述べられ、続いてこの2項目のIFCC法への移行の経緯、それぞれのアイソザイムの影響などJSCC法と比較しながら述べられました。ALPについては血液型の違いによって病態に無関係で小腸型ALPの影響を受けること、LDに関しても検体によってはLD総活性の測定値に差が生じるためそれらを回避すること、また、2項目とも国際的治験においてIFCC法が用いられていることを説明されました。基準値に関して、ALPはJSCC法と比較し、1/3になることは知っていたが、これは緩衝液、phによってアイソザイムの反応が異なることによって生じるものだと理解できまし

た。私の施設では昨年7月にIFCC法に移行しましたが、緩衝液とphの影響でしょうか、JSCC法と比較して試薬の安定性が低下したと考えます。メーカーによっても違いがあるのだろうか疑問に思いました。IFCC法を使用している施設は2020年度の日臨技精度管理調査では、12%であり2021年度4月から移行を目標にするには低すぎると感じました。これも新型コロナウイルス感染拡大で、試薬検討の遅れにより生じたものだと感じ、完全IFCC法移行には、まだ時間が必要だと感じました。この度、講演を聴きIFCC法への理解と試薬の処方の違いによるアイソザイムの反応など、すでに移行した施設、あるいはこれから検討に入る施設についても有意義な講演であったと感じました。最後に余談ですが、臨床化学は標準化が進みましたが、最近、TSHについてハーモナイゼーションが行われ施設間差をなくそうと動きがありますが、補正係数を掛けて調和するTSHには違和感を覚えるのは私だけでしょうか。(広報部 有谿俊一)

第 40 回 精度管理向上研修報告

令和 3 年 3 月 21 日(日) に第 40 回広島県臨床検査精度管理向上研修会が Web で開催されました。広島県医師会会長の松村誠先生より開会の挨拶後、協力施設への感謝状授与、成績優秀施設への表彰が執り行われました。その後精度管理調査結果の評価・解説がありました。詳しい報告資料は日臨技ホームページの JAMTQC に掲載されています。引き続き行われた特別公演では、広島大学病院診療支援部臨床検査部門 部門長山崎 真一先生に「医療を取り巻く環境の変化～検査室の環境変化へ対応するための人材とは～」と題して講演していただきました。医療を取り巻く環境の変化に

は「予期される環境変化」「予期せぬ急激な変化」があり、検査室の環境変化には「技術的な変化」「組織的な変化」「ユーザーニーズの変化」「経営的な変化」「働き方の変化」「精度保証の変化」があること、またこれらの環境の変化に対応するための「人材の育成」「組織の育成」の方法や広島大学病院での実際の育成研修会が紹介されました。印象に残った言葉に“「勝手に育て」から「育てる」”人材=人財 “ がありました。指導方法や教育方法を時代に合わせることの必要性や重要性を再認識できたのではないのでしょうか。(広報部 中島静)

2020 年度 第 5 回理事会議事録

日時 令和 3 年 3 月 2 日 (木) 18:30～20:10

場所 Cisco Webex Meetings による WEB 会議

出席者 森田会長、米田副会長、有谿副会長、尾田副会長、坂田事務局長、樫山部長、藤井経理部長、小松(浩)組織調査部長、中島広報部長、小川渉外法規部長、竹野理事、椋理事、吉井理事、大塚理事、栗村理事、小松(忠)理事、箕岡理事、和田理事、桑田理事、宮地理事、柴田理事、梶川理事、永金理事、水野監事

書記 箕岡

議 事

< 報告事項 >

【森田会長】

●日臨技から

・都道府県の医学検査学会や研修会の開催状況に関するアンケートが来ていたので回答をした。開催方法や参加費の徴収などの質問があった。

・都道府県の施設連絡責任者等に対してタスクシフティングの啓発推進事業の取り組み要請があった。それに対して日臨技役員を招致するので3月から6月と開催期間の指定があったので、小松(浩)組織調査部長に施設連絡責任者への推進研修会のお知らせを依頼し、招集して行うことにした。

●臨地実習指導者育成講習会について

・2024年には指導者がいないと臨地実習が行えなくため、臨地実習指導者育成講習会を計画しないとけない。3年間で中四国で約150名。

中四国連絡会議で、各県の臨地実習受託施設数、実習人数、実習要請施設名の把握を3月末までに行うことになった。小松（浩）組織調査部長に施設連絡責任者へのアンケート作成を依頼する。

●広島県合同輸血療法委員会

・広島県合同輸血療法研修会（3月6日 オンラインで開催）の共催依頼を受託した。

●広島県医療情報技師会

・広島県医療情報技師会が開催した研修会の後援明記の御礼文書が届いている。

●第54回中四国医学検査学会

・岡山コンベンションセンターで開催される。集合研修の予定だが感染の状況によってはWeb開催になる。

日時 2021年11月20日（土）～21日（日）

樫山学術部長にシンポジストや座長の推薦をお願いした。

●その他

・第35回広島県医学検査学会（呉市）で市民公開講座をしていただいた信友直子さんよりアーカイブの配信の依頼メールがあった。研修会や学会の企画をする際に組み入れても良いのではないかと思う。信友さんからのメールを皆さんに配信する。

【事務局（坂田）】

・なし

【学術部（椋）】

・生涯教育講座について（後述）

【経理部（藤井）】

・1月末にHIV日曜相談・検査事業委託費 1,290,500円（県より入金）

【渉外法規部（小川）】

・なし

【組織調査部（小松（浩））】

●タスクシフティング研修会と臨地実習のアンケート調査についての質問

臨地実習のアンケートとタスクシフティングの研修会の案内は研修会の日程が決まらないと同時に送付することは難しい。

（森田会長）

臨地実習のアンケート調査は急ぐので、アンケート調査を先行させる。臨地実習の研修会は中四国の中で3回行われる予定だが、2021年度に広島県で行われる予定になっている。先日の中四国連絡会議では利便性の良い岡山県などが候補だったが、岡山県が来年度学会を抱えておられるので広島が受けることになる。

→アンケート作成後、常務理事・理事メールで確認をお願いする。

【広報部（中島）】

なし

<地区報告>

【広島地区】

なし

【呉地区】

●事業報告

開催日	事業名	参加人数
2021/2/18	第2回呉地区血液研修会（Webex 開催）	69名

●活動報告

・なし

【東部地区】【東広島地区】【北部地区】

なし

【生涯教育講座】

●報告事項

2021年2月24日（水） 第1回生涯教育委員会

【委員会での決定事項】

2021年度生涯教育講座（案）について

開催方法：Cisco Webex を用いた、ライブ配信を行う。

開催回数：計4回実施する。ライブ配信のみとし、録画配信は行わない。

配信場所：広島 YMCA 国際文化センター本館 404 号館

聴講場所：任意の場所

開催日時：第1回：7月8日（木）

第2回：9月9日（木）

第3回：11月25日（木）

第4回：1月13日（木）

定員：制限なし

受講料：無料

申込開始日：2021年4月1日（木）

申込〆切日：2021年5月21日（金）

2021年度生涯教育講座内容

第1回：「ラオス農村部における妊産褥婦の現状と昆虫食について」（講師：椋）

第2回～第4回：

案①サンフレッチェメディカルチェック

案②コロナ関連の話

案③遺伝性乳癌について

*速報4月号に掲載予定であるため、3月15日までには決定する予定。

●討議事項

●一昨年度までの受講料2,000円を、Web配信ということで受講料を無料にしたい。

→ 生涯教育講座受講料を無料を賛成多数で承認

今回の予算審議は生涯教育の部分を外して討議し、後日生涯教育の予算を含めた予算書を理事にメールで確認することとする。

●録画配信をしないのは、何か理由があるのか。

今回講師から録画配信の許可を得ることが難しい感じがしたため、ライブ配信のみとして1回にした。

→ 可能ならば録画配信をしてもらいたい。

→ 生涯教育講座が各2回あることで、日程調整ができて聴講がしやすくなったという意見が多くある。録画することに問題を感じておられる講師の方に録画配信を無理強いできないが、日時を決めて1回だけでも配信できるようにお願いできないものか。

→ オンデマンドではなく日時を決めて再配信というのは可能か。講師の方に確認し、決定する。

→ 承認

【尾田副会長】

●県学会報告

・ご協力ありがとうございました。視聴時間5時間47分 招待者343人、参加者334人。2人の方から当日に「参加できない」とメールが届いていたが即時に対応できなかったことが反省点。翌日、お詫びのメールをした。

(栗村実行委員)

・内訳) 招待者225人、109人の未招待者(メールアドレスがヒットしない人)がいた。推測だが109人の未招待者は賛助会員、学生、登録アドレスと視聴アドレスが異なった人、事前登録者からアドレスをもらって視聴した人もいたのではないかと思う。

録画機能はあったが録画していなかったので、今後の課題としたい。

・アンケート入力ができない人がいる。

原因は、事前登録をするときに会員番号を間違えている。連絡してもらえば修正する。

<討議事項>

【森田会長】

● コロナに関しての検体採取で、自施設で実地研修を受けた臨床検査技師は施設長から実施終了の証明を受ける必要があるということで、1人(非会員)に証明書のフォーマットを技師会で用意しているという形で日臨技の方から送ってもらった。そのフォーマットを広臨技から送り、広臨技に報告をしてもらうことで、コロナに特化した検体採取の修了証明ということになる。

→ 今回のコロナ感染症が終息するまでの期間は、施設が証明をすることで可能であるならば、それでいいと思う。

→ フォーマットを送付して、一応自施設でやったということで広臨技に送付してもらう。

● 参与・顧問について

顧問は会長が理事会の決議を得て委嘱する。3月31日で現顧問の衆議院議員岸田文雄議員と県議会議長中本隆志議員の任期が終了する。引き続きお願いしても良いか。

→ 反対意見無し。引き続き2年間の任期で委嘱状を出す。

参与は現在白石先生と谷口先生だが、白石先生を名誉会員とし参与の空席に板羽先生を推薦させていただきたい。名誉会員は表彰委員会が推薦して理事会の決議を経ることになる。次の表彰委員会に出して、その後理事会での決定となる。表彰委員会にその旨伝えても良いか。

→反対意見なし。表彰委員会から名誉会員の推薦をしていただく。

【事務局】

- 総会について（後述）

【経理部】

- 予算について（後述）

【学術部】【渉外法規部】【組織調査部】【広報部】

なし

【広島地区】【呉地区】【東広島地区】【北部地区】

なし

【東部地区】

来年度の県学会開催予定日を2月19日（土）20日（日）とし、会場は三原国際ホテルを予約した。

【有谿副会長】

- 総会の委任状・電磁的議決権について

情報システム委員会で、日臨技と同じように電磁的行使に一本化したいという案が出た。村上氏に確認すると技術的には可能との回答があった。

電磁的行使に誘導するが、それでもできないという方のために書面は必要と考える。ただし郵送に関しては自己負担で広臨技事務所に返送していただく。

【坂田事務局長】

- 総会資料について

名前ごとの個別配送にする。配送はニシキプリントに依頼していたが、今回はパスワードとIDを含んだ情報を渡すことになり個人情報の観点からできないと考える。今回は事務所の方で発送作業を行う。

- 書面表決について

返送先を地区理事から事務所に一本化する。

→今まで発送の遅い施設に督促の連絡をしていたが、今後どうなるのか。

→Next cloud にリストをアップし定期的に更新するので、地区理事にはそれで確認していただき各施設責任者に連絡をしていただきたい。誤って地区理事に送付された場合、メールでも Fax でも構わないので事務所に連絡していただき、当日原本を持って来ていただきたい。

【栗村理事】

- 広島西部地区の来年度のリクリエーションについて

カープ観戦について計画を進めていく。

【経理部（藤井）】

●令和3年度予算案について

- ・収支予算書（案）（別紙）の説明

→Webexは5ライセンス契約しているが現在の使用状況から減らせるのではないか。

→ライセンス予算は前年同様とする。更新時期に常務理事会で確認する。

【坂田事務局長】

●総会の日程について

日時 6月12日（土）、会場は広島市民病院10F講堂で開催する。



広報部連絡・専用E-Mail < koho@hiroringi.or.jp >

次号速報の原稿〆切は 5月15日です

一般社団法人広島県臨床検査技師会

令和3年度

定期総会資料

目次

議案

第1号議案	令和2年度事業報告・・・・・・・・・・	1
第2号議案	令和2年度決算報告・・・・・・・・・・	9
第3号議案	令和2年度監査報告・・・・・・・・・・	17
第4号議案	令和3年度事業方針案・・・・・・・・・・	18
第5号議案	令和3年度予算案・・・・・・・・・・	22
第6号議案	名誉会員の推薦に関する事・・・・・・・・	24
第7号議案	その他	

第1号議案 令和2年度事業報告

<総括>

新型コロナウイルス感染拡大により、多くの事業を延期や中止となりましたこと、会員の皆様にお詫びいたします。また、創立70周年記念式典は延期としました。

ただ、感染の拡大を防止するためにも必要なことであったと思います。しかしコロナ禍でも、生涯教育講座は、何とか委員の皆様の尽力により開催できたことは、今後の研修会の在り方を変えるものだった。また、理事会や会議、各部門の研修会は、すべてWebにより開催した。

学術誌「広島臨床検査 Vol.9」の発刊し、会員の業績を支援した、

2021年2月28日に広島市において広島医学検査学会を新型コロナウイルス感染拡大予防のため一般演題とR-CPCのみとしWeb開催した。広島県からの委託事業のエイズ日曜検査は新型コロナウイルス感染予防を徹底し実施し、県民の医療および公衆衛生の向上に貢献した。

3月21日には、第40回精度管理向上研修会を、Webにて開催し、検査データの標準化、共有化を推進した。

<事務局>

1) 事務局体制の維持と管理

- ・事務局運営規定に則り業務を遂行した。
- ・日臨技総合情報システム（JAMTIS）を利用し、会員情報の維持・管理を行った。
- ・ウェブサイトやメールマガジンを利用し、新着情報その他各種情報の即時発信に努めた。

2) 技師会活動の連携体制を維持

- ・新型コロナウイルス感染拡大から多くの学会や研修会が延期または中止される中、広臨技として学術活動をどう維持継続していくか検討を行った。セキュリティの優位性からWeb会議用アプリケーションとしてWebexミーティング（Webex）を選択しドコモと5回線を契約し、インターネットを利用したWeb開催の環境を整備した。Web研修会の実施にあたり、理事、学術部門員、各委員会委員、地区理事を対象に、Webex使用のための研修会を開催した。
- ・Web研修会開催のための、申し込み、レポート作成フォーマットをウェブサイト上に整備した。
- ・広臨技ウェブサイト会員の登録推進を図るとともに、会員に向けてメールマガジンを利用した情報の周知や広報に努めた。

3) 行政・日臨技と連携した医療体制の周知

- ・広島県や日臨技からの連絡に対し、関係部署へ周知し対応を行った。

4) 常務理事会および理事会の開催

- ・常務理事会を12回（原則的に毎月第1木曜日でWeb会議を併用）、理事会を5回開催した。理事会は密室を避けて、第1回はYMCA会議室、第2回から5回はWeb会議とした。

5) 定期総会の開催

- ・定款の規定に基づき、総会を令和2年6月13日に広島市民病院において開催した。表彰祝賀会は新型コロナウイルス感染拡大から中止した。
- ・ウェブサイトを利用した電磁的議決権行使サイトを整備し、運用を開始した。

6) 新春祝賀会の開催

- ・新型コロナウイルス感染拡大により中止した。

7) 情報システムの管理

- ・情報システム委員会を中心に関係部署と協力しながら各種文書保存、電子データ保管の安全性強化のために、クラウド環境 nextcloud を設置し機密性、保存性強化を図った。
- ・生涯教育関連の事務業務、研修会等に使用するハードウェア、ソフトウェアの共用化のために宅急便を使った搬送の仕組みを整備した。
- ・研修会が集合型から Web 形式に移行したことから、広臨技ウェブサイト会員の登録推進を図るとともに、会員、賛助会員に向けてメールマガジンを利用した情報提供や広報に努めた。

8) 事務所の管理

- ・グレイスビルの老朽化に伴う事務所維持問題を継続し検討している（継続課題）。
- ・事務所所有者にかかる損害賠償責任の対策や事務所財産の保全処置を図った。

<学術部>

1) 検査研究部門および領域の活動

新型コロナウイルス蔓延をうけ、日臨技の研修会方向性に従い密な集合研修を中止することとした。Web を介した会議と研修会の実施に向けて Webex ミーティングの検討を行い契約。理事、学術部門長への Webex 使用法の研修会を実施した。経験のない中、5 部門では Web 研修会を企画し開催を試みた。（資料 1）第 38 回広島県医学検査学会（令和 3 年 2 月 28 日）を広島地区より実施することとし、Web 開催の実務を支援した。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、様々なルールの中で過去にない 1 年であった。前年より企画していた 2020 年度学術活動はほぼリセットされることとなり、今後の学術活動の方向性について考えさせられた。

2) 生涯教育講座の開催

生涯教育委員会を中心に広島地区および東部地区でそれぞれ 4 回、生涯教育講座を開催した。委員の方々の重ねるリハーサルと調整により、Web 講座として実施することができた。（資料 2）

3) 精度管理事業

広島県医師会共催のもと、精度管理委員会を中心に精度管理事業を実施した。昨年度は新型コロナウイルス感染防止のため精度管理向上研修会は断念したが、本年度は 2021 年 3 月 21 日に広島県医師会館より Web 開催にて実施、学術としては実務を支援した。

臨床検査データ標準化事業は標準化委員会を中心に実施した。本年度は新システム導入によるデータ入力、解析について時間を要し、年度内の報告会開催を断念した。現在、2021 年 5 月広島県臨床検査データ標準化事業報告会開催に向けて準備を図る。

4) 会員の業績向上への支援

学術誌編集委員会により例年のスケジュールに合わせ、学術誌「広島臨床検査」を発刊した。査読委員、編集委員の活動、および広報部と連携して2020年第9号を12月に発刊した。その他、学会発表、論文投稿を支援し2021年度発刊に向けて始動している。

学術部門 資料1

【臨床血液部門】

開催日	事業名	参加人数
2021/01/23	当直に役立つ血液検査の基礎	71

【臨床一般部門】開催なし

【染色体・遺伝子部門】

開催日	事業名	参加人数
2020/12/19	ウイルス検出遺伝子検査に際してのポイント	31

【病理細胞部門】

開催日	事業名	参加人数
2020/10/10	細胞検査士1次試験に向けた基礎知識研修会	23

【生物化学分析部門】開催なし

【臨床微生物部門】

開催日	事業名	参加人数
2020/12/23	第1回臨床微生物部門研修会	18

【臨床生理部門】

開催日	事業名	参加人数
2021/1/16	生理検査部門研修会（NSTと褥瘡エコー）	48

【輸血細胞療法部門】開催なし

【臨床検査総合部門】開催なし

学術部門 資料2

【生涯教育委員会】

開催日	事業名	参加人数
-----	-----	------

2020/09/10	第1回生涯教育講座（広島地区）Web研修会（Live配信）	116
2020/09/24	第1回生涯教育講座（東部地区）Web研修会（録画配信）	40
2020/11/12	第2回生涯教育講座（広島地区）Web研修会（Live配信）	69
2020/11/26	第2回生涯教育講座（東部地区）Web研修会（録画配信）	24
2021/01/14	第3回生涯教育講座（広島地区）Web研修会（Live配信）	74
2021/01/28	第3回生涯教育講座（東部地区）Web研修会（録画配信）	46
2021/02/02	第4回生涯教育講座（広島地区）Web研修会（Live配信）	57
2021/03/04	第4回生涯教育講座（東部地区）Web研修会（録画配信）	27

学術部門 資料3

【臨床検査データ標準化委員会】開催なし

<経理部>

掲載資料に基づき概要を報告する。尚、財務諸表は公認会計士の指導のもと作成した。

1) 貸借対照表

広島県臨床検査技師会の令和3年3月31日現在の財政状態を表している。保有している『資産』、今後支払う義務のあるものや翌年度分の会費の前受などの『負債』、資産から負債を差し引いた純財産である『正味財産』を表している。

資産合計は5831万1345円、負債合計は1236万141円となり、正味財産合計は4595万1204円となった。

2) 正味財産増減計算書

広島県臨床検査技師会の正味財産（資産から負債を控除したもの）の令和2年度中の増減を示した計算書である。

当期の一般正味財産の経常収益計は1967万3933円、経常費用計は1268万6941円であった。この結果、当期の経常増減額は698万6992円のプラスとなり、これに一般正味財産期首残高3896万4212円を合計して正味財産期末残高は4595万1204円となった。

3) 正味財産増減計算書内訳表

正味財産増減計算書の事業別の内訳を示す。

4) 財務諸表に対する注記

財務諸表についての追加説明が記載されている。

5) 財産目録

広臨技が令和3年3月31日現在において保有する全ての財産の内訳を記載した目録で、会計基準に則って記載している。

6) 収支計算書

令和2年度のすべての収入、支出の明細表であり、予算と対比することにより、予算の執行状況を明らかにする書類であり、法人としての一年間の活動を数字で表したものである。事業活動収入計は1967万3933円、事業活動支出計は1239万7285円であり、新型コロナウイルス感染拡大により事業を実施できなかった影響などにより、事業活動収支差額は727万6648円と大幅なプラスとなった。

事業活動収入1967万3933円の内訳は

- ① 会費収入は1519万9000円、その主な内訳は、正会員会費収入は1305万5000円で前期と同額、賛助会員会費収入は213万円となり前期比較で2社純減であった。
- ② 事業収入は369万9081円、その主な内訳は公益受託事業収入254万3898円、広島県医学検査学会事業収入38万円、広報事業誌発行収入56万円であった。
- ③ 補助金等収入は77万5560円、前期比較で67万3154円減少した。

事業活動収入計は前期比較で294万703円、予算比で289万1567円の減少となった。

事業活動支出1239万7285円の内訳は、

- ① 事業費支出の主な内訳は公益受託事業費支出256万1858円、広島県医学検査学会事業費支出93万3395円、学術事業費支出174万1032円、生涯教育事業費支出66万7791円、広報事業費支出125万5368円であった。
- ② 管理費支出（法人会計）は479万9297円となった。

事業活動支出計は前期比較で798万2659円、予算比で1378万2715円の減少となった。

< 渉外・法規部 >

1) 公益事業、全国「検査と健康展」について

・公益事業（ピンクリボン de カーブ、世界エイズデー連携イベント「レッドリボンキャンペーン in 広島」、HIV/梅毒臨時検査、「21世紀、県民の健康と暮らしを考える県民フォーラム」）と全国「検査と健康展」についてはいずれも新型コロナウイルス感染予防のため実施が見送られた。

2) 各種表彰について

・3月15日(月)に表彰審査委員会を開催し、令和2年度広臨技表彰の学術業績者表彰に福田雅子技師、学術奨励賞に河野浩善技師、永年職務奨励者賞16名を推薦した。

4) 無料職業紹介事業

臨床検査技師の求人情報（17件：令和2年4月～令和3年3月）を広臨技ウェブサイトに掲載し、就職の便宜を図った。

5) 広島県エイズ日曜検査事業および相談事業（広島県からの委託事業）

・エイズ日曜検査事業

毎月第3日曜日（6・12月は第1日曜日）に県立広島病院で合計14回行った。医師14名、看護師のべ28名、会員のべ29名が従事した。検査件数は以下に示す。

・エイズ日曜検査相談事業

毎週日曜日9時から16時まで相談員による電話での相談事業を合計52回行った。相談件数を以下に示す。

日曜検査 実施件数

	男	女	合計
2020/4/19	3	3	6
2020/5/17	6	1	7

日曜相談 実施件数

	第1週	第2週	第3週	第4週	第5週	合計
4月	6	9	12	6		33
5月	6	15	11	5	6	43

2020/6/7	3	0	3	6月	7	9	14	7		37
2020/6/21	7	1	8	7月	6	6	14	4		30
2020/7/19	7	1	8	8月	5	8	11	6	7	37
2020/8/16	6	0	6	9月	6	7	5	3		21
2020/9/20	3	0	3	10月	5	3	8	2		18
2020/10/18	5	0	5	11月	6	3	7	2	7	25
2020/11/15	3	0	3	12月	10	6	7	5		28
2020/12/6	8	0	8	1月	3	8	7	4	1	23
2020/12/20	4	0	4	2月	6	5	10	9		30
2021/1/17	4	1	5	3月	4	2	7	4		17
2021/2/21	5	2	7	合計						342
2021/3/21	3	0	3							
合計	67	9	76							

(令和2年度の受賞者)

I. 学術業績者表彰 福田雅子 (医療法人 翠清会梶川病院)

II. 学術奨励賞 河野浩善 (地方独立行政法人 広島市立病院機構 広島市立広島市民病院)

III. 功労者表彰 該当者なし

IV. 永年職務精励者表彰 (16名)

	氏名	施設名
1	高野 千代美	福山市医師会健康支援センター
2	広実 早苗	尾道市立市民病院
3	平谷 恵子	尾道市立市民病院
4	白井 富美恵	自宅会員
5	琴浦 恵	広島医療生活協同組合広島共立病院
6	實光 由美子	杏仁会松尾内科病院
7	佛円 尚美	県立広島病院
8	白川 勝己	独立行政法人労働者健康安全機構 中国労災病院
9	宮崎 展一	因島医師会病院
10	朝日 賢治	医療法人社団一陽会原田病院
11	花岡 加代子	三次地区医師会臨床検査センター
12	大上 折恵	財団法人 広島県地域保健医療推進機構
13	橋本 義昭	広島赤十字・原爆病院

14	梅野 裕子	独立行政法人労働者健康安全機構 中国労災病院
15	鵜久森 淳一	独立行政法人労働者健康安全機構 中国労災病院
16	山本 早苗	安芸太田戸河内診療所

V. 特別表彰 該当者なし

<組織調査部>

1) 地区活動

- ・各地区においての研修会や学会はいずれも新型コロナウイルス感染の影響で開催できなかった。（各地区理事報告を参照）
- ・各地区においてのレクリエーションや交流会も新型コロナウイルス感染の影響で開催できなかった。

2) 組織強化

- ・新入会員オリエンテーション（東部地区・東部地区以外において）を開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染の影響で開催できなかった。
- ・卒後3～5年の技師を対象に「初級・職能開発講習会」を開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染の影響で開催できなかった。
- ・経験年数15年から20年の臨床検査技師を対象に「広島県ニューリーダー育成研修会：第3回」を開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染の影響で開催できなかった。

3) 会員管理（令和2年度末会員数）：

正会員数 1831名（継続会員 1829名 新・再入会員 86名 退会 84名）
 県会員 2名 名誉会員 2名 賛助会員 69社

(各地区理事報告)

1. 広島地区

開催日	事業名	参加人数
	なし	

2. 呉地区

開催日	事業名	参加人数
2020/10/14	第1回呉地区委員会（Web開催）	13名
2021/2/18	第2回呉地区血液研修会（Web開催）	69名

3. 東部地区

開催日	事業名	参加人数
2020/09/24	第1回生涯教育講座（東部地区）	40名

4. 東広島地区

開催日	事業名	参加人数
	なし	

5. 北部地区

開催日	事業名	参加人数
	なし	

<広報部>

1) 速報の発行

- ・速報 No. 402～413 号の PDF 版を計 12 回を発行し、公益事業を含む事業報告、理事会報告、学会・研修会等のお知らせを掲載し広臨技ウェブサイト、メールマガジンで会員および賛助会員へ情報発信した。

2) 学術誌「広島臨床検査」の発刊

- ・学術誌編集において広告募集を支援し、「広島臨床検査 Vol.9」を令和 2 年 12 月に発行配布した。

3) 会報の発行

- ・会報 vol. 49 No. 2 として、平成 31 (令和元) 年度の活動記録をまとめ、令和 2 年 8 月に発行した。
- ・会報 vol. 50 No. 1 として、第 38 回広島県医学検査学会抄録集を 令和 3 年 1 月に発行した。

第2号議案 令和2年度決算報告

貸借対照表

令和3年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産	32,547,518	24,956,348	7,591,170
現金預金	32,547,518	24,956,348	7,591,170
立替金	0	0	0
未収入金	0	0	0
2. 固定資産	25,763,827	26,053,379	△ 289,552
(1) 基本財産	0	0	0
(2) 特定資産	12,237,577	12,237,473	104
事務所維持特定預金	10,237,577	10,237,473	104
70周年記念事業引当預金	2,000,000	2,000,000	0
(3) その他固定資産	13,526,250	13,815,906	△ 289,656
建 物	571,621	837,710	△ 266,089
建物附属設備	114,117	137,684	△ 23,567
工具器具備品	2	2	0
土 地	12,840,510	12,840,510	0
資産合計	58,311,345	51,009,727	7,301,618
II 負債の部			
1. 流動負債	12,360,141	12,045,515	314,626
未払金	71,000	71,000	0
前受金	12,173,000	11,886,000	287,000
預り金	116,141	88,515	27,626
2. 固定負債	0	0	0
負債合計	12,360,141	12,045,515	314,626
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
2. 一般正味財産	45,951,204	38,964,212	6,986,992
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	(12,237,577)	(12,237,473)	104
正味財産合計	45,951,204	38,964,212	6,986,992
負債及び正味財産合計	58,311,345	51,009,727	7,301,618

(貸借対照表に関する注記)

実施事業資産は、次のとおりである。

その他固定資産

建 物	571,621
建物附属設備	114,117
工具器具備品	2
土 地	12,840,510
合 計	<u>13,526,250</u>

附属明細書

特定資産については注記に記載のため省略。

正味財産増減計算書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	0	0	0
② 特定資産運用益	104	87	17
③ 受取会費	15,199,000	15,280,000	△ 81,000
④ 事業収益	3,699,081	5,885,671	△ 2,186,590
公益受託事業収益	2,543,898	2,581,000	△ 37,102
広島県医学検査学会事業収益	380,000	406,000	△ 26,000
学術事業収益	18,151	190,671	△ 172,520
生涯教育事業収益	197,032	742,000	△ 544,968
組織運営事業収益	0	0	0
広報事業収益	560,000	420,000	140,000
表彰・祝賀事業収益	0	1,546,000	△ 1,546,000
⑤ 受取補助金等	775,560	1,448,714	△ 673,154
⑥ 雑収益	188	164	24
経常収益計	19,673,933	22,614,636	△ 2,940,703
(2) 経常費用			
① 事業費	7,597,988	15,499,070	△ 7,901,082
給料手当	0	0	0
福利厚生費	0	0	0
会議費	29,604	3,103,145	△ 3,073,541
活動費	158,000	839,636	△ 681,636
旅費交通費	184,950	1,439,260	△ 1,254,310
通信費	855,247	705,562	149,685
消耗品費	717,965	1,590,736	△ 872,771
印刷製本費	2,274,830	3,218,718	△ 943,888
諸謝金	2,238,029	3,058,373	△ 820,344
会場費	654,890	730,420	△ 75,530
支払助成金	0	0	0
広告費	0	123,112	△ 123,112
保険料	0	0	0
消耗什器備品費	0	0	0
雑費	484,473	690,108	△ 205,635
② 管理費	5,088,953	5,170,530	△ 81,577
給料手当	1,328,964	1,604,765	△ 275,801
福利厚生費	21,598	58,741	△ 37,143
会議費	263,369	50,364	213,005
旅費交通費	162,460	288,370	△ 125,910
通信費	157,195	225,030	△ 67,835
運搬費	221,674	222,279	△ 605
消耗什器備品費	0	0	0
消耗品費	119,031	120,959	△ 1,928
印刷製本費	294,200	241,362	52,838
光熱水料費	86,851	80,684	6,167
諸謝金	688,756	545,000	143,756
諸会費	10,000	0	10,000
賃借料	336,624	362,392	△ 25,768
支払手数料	34,210	8,750	25,460
事務所維持費	839,202	693,080	146,122
租税公課	155,034	144,100	10,934
減価償却費	289,656	289,656	0
広告費	0	77,000	△ 77,000
雑費	80,129	157,998	△ 77,869
経常費用計	12,686,941	20,669,600	△ 7,982,659
当期経常増減額	6,986,992	1,945,036	5,041,956
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	6,986,992	1,945,036	5,041,956
一般正味財産期首残高	38,964,212	37,019,176	1,945,036
一般正味財産期末残高	45,951,204	38,964,212	
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	45,951,204	38,964,212	6,986,992

正味財産増減計算書内訳表

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位：円)

	実施事業等会計						その他会計					法人会計	内部取引消去	合計
	公益受託事業	広島県医学検査学会事業	学術事業	生涯教育事業	共通	小計	組織運営事業	広報事業	表彰・祝賀会事業	共通	小計			
I 一般正味財産増減の部														
1. 経常増減の部														
(1) 経常収益														
① 基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
② 特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	104	0	104
③ 受取会費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15,199,000	0	15,199,000
④ 事業収益	2,543,898	380,000	18,151	197,032	0	3,139,081	0	560,000	0	0	560,000	0	0	3,699,081
⑤ 受取補助金等	0	0	445,500	242,000	0	687,500	0	0	0	0	0	88,060	0	775,560
⑥ 雑収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	188	0	188
経常収益計	2,543,898	380,000	463,651	439,032	0	3,826,581	0	560,000	0	0	560,000	15,287,352	0	19,673,933
(2) 経常費用														
① 事業費	2,561,858	933,395	1,741,032	667,791	0	5,904,076	86,840	1,255,368	351,704	0	1,693,912	0	0	7,597,988
給料手当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会議費	2,376	17,624	8,253	751	0	29,004	0	600	0	0	600	0	0	29,604
活動費	0	28,000	16,000	100,000	0	144,000	4,000	10,000	0	0	14,000	0	0	158,000
旅費交通費	7,480	51,440	53,500	820	0	113,240	66,710	5,000	0	0	71,710	0	0	184,950
通信費	217,353	195,649	382,183	3,563	0	798,748	9,792	0	46,707	0	56,499	0	0	855,247
消耗品費	363,759	0	294,317	41,882	0	699,958	110	0	17,897	0	18,007	0	0	717,965
印刷製本費	0	275,000	748,030	7,700	0	1,030,730	0	1,232,000	12,100	0	1,244,100	0	0	2,274,830
諸謝金	1,962,200	0	122,499	142,194	0	2,226,893	5,568	5,568	0	0	11,136	0	0	2,238,029
会場費	0	298,650	63,080	293,160	0	654,890	0	0	0	0	0	0	0	654,890
支払助成金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
広告費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
保険料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
消耗什器備品費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雑費	8,690	67,032	53,170	77,721	0	206,613	660	2,200	275,000	0	277,860	0	0	484,473
② 管理費												5,088,953	0	5,088,953
給料手当												1,328,964	0	1,328,964
福利厚生費												21,598	0	21,598
会議費												263,369	0	263,369
旅費交通費												162,460	0	162,460
通信費												157,195	0	157,195
運搬費												221,674	0	221,674
消耗什器備品費												0	0	0
消耗品費												119,031	0	119,031
印刷製本費												294,200	0	294,200
光熱水料費												86,851	0	86,851
諸謝金												688,756	0	688,756
諸会費												10,000	0	10,000
賃借料												336,624	0	336,624
支払手数料												34,210	0	34,210
事務所維持費												839,202	0	839,202
租税公課												155,034	0	155,034
減価償却費												289,656	0	289,656
広告費												0	0	0
雑費												80,129	0	80,129
経常費用計	2,561,858	933,395	1,741,032	667,791	0	5,904,076	86,840	1,255,368	351,704	0	1,693,912	5,088,953	0	12,686,941
当期経常増減額	△ 17,960	△ 553,395	△ 1,277,381	△ 228,759	0	△ 2,077,495	△ 86,840	△ 695,368	△ 351,704	0	△ 1,133,912	10,198,399	0	6,986,992
2. 経常外増減の部														
(1) 経常外収益														
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用														
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 17,960	△ 553,395	△ 1,277,381	△ 228,759	0	△ 2,077,495	△ 86,840	△ 695,368	△ 351,704	0	△ 1,133,912	10,198,399	0	6,986,992
一般正味財産期首残高	△ 6,286,935	△ 8,259,092	△ 18,365,517	759,512	0	△ 32,152,032	△ 13,262,167	△ 9,219,327	△ 5,276,865	0	△ 27,758,359	98,874,603	0	38,964,212
一般正味財産期末残高	△ 6,304,895	△ 8,812,487	△ 19,642,898	530,753	0	△ 34,229,527	△ 13,349,007	△ 9,914,695	△ 5,628,569	0	△ 28,892,271	109,073,002	0	45,951,204
II 指定正味財産増減の部														
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

定額法

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建 物	6,159,490	5,587,869	571,621
建物附属設備	351,750	237,633	114,117
器 具 備 品	640,040	640,038	2
合 計	7,151,280	6,465,540	685,740

3 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
事務所維持特定預金	10,237,473	104	0	10,237,577
70周年記念事業引当預金	2,000,000	0	0	2,000,000
合 計	12,237,473	104	0	12,237,577

4 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対 応する額)
特定資産				
事務所維持特定預金	10,237,577	-	(10,237,577)	-
70周年記念事業引当預金	2,000,000	-	(2,000,000)	-
合 計	12,237,577	-	(12,237,577)	-

5 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

補助金等の名称	交付者	前期末 残 高	当 期 増加額	当 期 減少額	当期末 残 高	貸借対照表 上の記載区 分
補助金						
医療技術者研修事業補助金	広島県	0	100,000	100,000	0	—
助成金						
日臨技推進事業研修会助成金	(一社)日本臨床衛生検査技師会	0	587,500	587,500	0	—
総会議決権行使書回収委託費	(一社)日本臨床衛生検査技師会	0	88,060	88,060	0	—
合 計		0	775,560	775,560	0	

財 産 目 録

令和3年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)				
	現金	本部・経理部手許現金	運転資金として	46,649
	預金	普通預金	運転資金として	
		もみじ銀行広島中央支店(事務局)	運転資金として	126,386
		もみじ銀行広島中央支店(経理部)	運転資金として	32,337,381
		もみじ銀行広島中央支店(渉外法規部)	運転資金として	37,102
	立替金			
流動資産合計				32,547,518
(固定資産)				
特定資産	事務所維持特定預金	もみじ銀行広島中央支店	将来の事務所の修繕・移転等に備えたもの	10,237,577
	70周年記念事業 引当預金	もみじ銀行広島中央支店	設立70周年記念事業費用に備えたもの	2,000,000
その他固定資産	建物	広島市中区八丁堀6番10号グレイスビル801号	各事業及び管理業務に使用	571,621
	建物附属設備	本部事務所トイレ工事一式	各事業及び管理業務に使用	114,117
	工具器具備品	本部事務所パソコン、エアコン	各事業及び管理業務に使用	2
	土地	広島市中区八丁堀6番10号	各事業及び管理業務に使用	12,840,510
固定資産合計				25,763,827
資産合計				58,311,345
(流動負債)				
	未払金		広島県・広島市法人住民税均等割	71,000
	前受金		翌年度の会費	12,173,000
	預り金		給与・諸謝金等の源泉所得税、県への返金額	116,141
流動負債合計				12,360,141
負債合計				12,360,141
正味財産				45,951,204

収支計算書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
(1) 基本財産運用収入	0	0	0	
(2) 特定資産運用収入	0	104	△ 104	
① 受取利息	0	104	△ 104	
(3) 会費収入	15,175,000	15,199,000	△ 24,000	
① 正会員会費収入	12,950,000	13,055,000	△ 105,000	(法人会計)@7,000×1,865人
② 県会員会費収入	35,000	14,000	21,000	(法人会計)@7,000×2人
③ 賛助会員会費収入	2,190,000	2,130,000	60,000	(法人会計)@30,000×71社
(4) 事業収入	6,180,000	3,699,081	2,480,919	
① 公益受託事業収入	2,560,000	2,543,898	16,102	(実施事業1) 県エイズ相談・日曜検査事業受託収入
② 広島県医学検査学会事業収入	450,000	380,000	70,000	(実施事業2)
③ 学術事業研修会収入	200,000	18,151	181,849	(実施事業3)
④ 生涯教育事業収入	720,000	197,032	522,968	(実施事業4)
⑤ 組織運営事業収入	100,000	0	100,000	(その他事業1)
⑥ 広報事業会誌発行収入	500,000	560,000	△ 60,000	(その他事業2)
⑦ その他事業収入	1,650,000	0	1,650,000	(その他事業3) 表彰・祝賀会事業
(5) 補助金等収入	1,200,000	775,560	424,440	
① 県補助金収入	100,000	100,000	0	(実施事業3) 医療技術者研修事業等
② 日臨技公益事業助成金収入	500,000	0	500,000	(実施事業1) 検査と健康展委託事業
③ 日臨技研修助成金収入	500,000	587,500	△ 87,500	(実施事業3,4) 推進事業研修会
④ 日臨技その他助成金収入	100,000	88,060	11,940	(法人会計) 日臨技事務委託費
(6) 雑収入	10,500	188	10,312	
① 受取利息	500	188	312	
② 雑収入	10,000	0	10,000	
事業活動収入計	22,565,500	19,673,933	2,891,567	
2. 事業活動支出				
(1) 事業費支出	21,450,000	7,597,988	13,852,012	
① 公益受託事業費支出	4,390,000	2,561,858	1,828,142	(実施事業1)
② 広島県医学検査学会事業費支出	2,202,000	933,395	1,268,605	(実施事業2)
③ 学術事業費支出	3,890,000	1,741,032	2,148,968	(実施事業3)
④ 生涯教育事業費支出	735,000	667,791	67,209	(実施事業4)
⑤ 組織運営事業費支出	2,109,000	86,840	2,022,160	(その他事業1) 地区活動事業
⑥ 教育研修事業費支出	0	0	0	
⑦ 広報事業費支出	1,481,000	1,255,368	225,632	(その他事業2) 広報事業
⑧ 表彰・祝賀会事業費支出	6,643,000	351,704	6,291,296	(その他事業3) 表彰・祝賀会事業
(2) 管理費支出	4,730,000	4,799,297	△ 69,297	(法人会計)
事業活動支出計	26,180,000	12,397,285	13,782,715	
事業活動収支差額	△ 3,614,500	7,276,648	△ 10,891,148	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
(1) 特定資産取崩収入	2,000,000	0	2,000,000	
① 特定資産取崩収入	2,000,000	0	2,000,000	記念事業引当資産取崩収入
投資活動収入計	2,000,000	0	2,000,000	
2. 投資活動支出				
(1) 固定資産取得支出	0	0	0	
① 固定資産取得支出	0	0	0	
(2) 特定資産取得支出	0	104	△ 104	
① 事務所維持特定預金取得支出	0	104	△ 104	事務所修繕・移転に備えた特定預金への振替
② 記念事業引当資産取得支出	0	0	0	設立70周年記念事業費用への引当
投資活動支出計	0	104	△ 104	
投資活動収支差額	0	△ 104	104	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出	0	0	0	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出	0	-	0	
当期収支差額	△ 1,614,500	7,276,544	△ 8,891,044	
前期繰越収支差額	12,910,833	12,910,833	-	
次期繰越収支差額	11,296,333	20,187,377	△ 8,891,044	

収支計算書（前期比較）

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

（単位：円）

科 目	前期決算額	決算額	増 減	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
(1) 基本財産運用収入	0	0	0	
(2) 特定資産運用収入	87	104	△ 17	
① 受取利息	87	104	17	事務所維持特定預金利息
(3) 会費収入	15,280,000	15,199,000	△ 81,000	
① 正会員会費収入	13,055,000	13,055,000	0	(法人会計)
② 県会員会費収入	35,000	14,000	△ 21,000	(法人会計)
③ 賛助会員会費収入	2,190,000	2,130,000	△ 60,000	(法人会計) 賛助会員2社純減
(4) 事業収入	5,885,671	3,699,081	△ 2,186,590	
① 公益受託事業収入	2,581,000	2,543,898	△ 37,102	(実施1) 広島県エイズ相談・日曜検査事業受託
② 広島県医学検査学会事業収入	406,000	380,000	△ 26,000	(実施2)
③ 学術事業研修会収入	190,671	18,151	△ 172,520	(実施3)
④ 生涯教育事業収入	742,000	197,032	△ 544,968	(実施4)
⑤ 組織運営事業収入	0	0	0	(その他1)
⑥ 広報事業会誌発行収入	420,000	560,000	140,000	(その他2)
⑦ その他事業収入	1,546,000	0	△ 1,546,000	(その他3)
(5) 補助金等収入	1,448,714	775,560	△ 673,154	
① 県補助金収入	100,000	100,000	0	(実施3) 医療技術者研修事業補助金
② 日臨技公益事業助成金収入	500,000	0	△ 500,000	(実施1)
③ 日臨技研修助成金収入	682,814	587,500	△ 95,314	(実施3,4) 日臨技推進事業研修会助成金
④ 日臨技その他助成金収入	145,900	88,060	△ 57,840	(法人会計) 日臨技事務委託費
⑤ 広島県細胞検査士会助成金収入	20,000	0	△ 20,000	(実施3)
(6) 雑収入	164	188	24	
① 受取利息	164	188	24	
② 雑収入	0	0	0	
事業活動収入計	22,614,636	19,673,933	△ 2,940,703	
2. 事業活動支出				
(1) 事業費支出	15,499,070	7,597,988	△ 7,901,082	
① 公益受託事業費支出	3,772,121	2,561,858	△ 1,210,263	(実施1) 県エイズ相談・日曜検査事業受託
② 広島県医学検査学会事業費支出	1,523,485	933,395	△ 590,090	(実施2)
③ 学術事業費支出	3,650,493	1,741,032	△ 1,909,461	(実施3)
④ 生涯教育事業費支出	623,378	667,791	44,413	(実施4)
⑤ 組織運営事業費支出	2,131,806	86,840	△ 2,044,966	(その他1)
⑥ 教育研修事業費支出	0	0	0	
⑦ 広報事業費支出	1,308,264	1,255,368	△ 52,896	(その他2)
⑧ 表彰・祝賀会事業費支出	2,489,523	351,704	△ 2,137,819	(その他3)
(2) 管理費支出	4,880,874	4,799,297	△ 81,577	(法人会計)
事業活動支出計	20,379,944	12,397,285	△ 7,982,659	
事業活動収支差額	2,234,692	7,276,648	5,041,956	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
(1) 特定資産取崩収入	0	0	0	
① 特定資産取崩収入	0	0	0	
投資活動収入計	0	0	0	
2. 投資活動支出				
(1) 固定資産取得支出	0	0	0	
① 固定資産取得支出	0	0	0	
(2) 特定資産取得支出	2,000,087	104	△ 1,999,983	
① 事務所維持特定預金取得支出	87	104	17	事務所修繕・移転に備えた特定預金の利息
② 70周年記念事業引当資産取得支出	2,000,000	0	△ 2,000,000	設立70周年・法人化30周年記念事業費用への引当
投資活動支出計	2,000,087	104	△ 1,999,983	
投資活動収支差額	△ 2,000,087	△ 104	1,999,983	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出	0	0	0	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出	-	-	-	
当期収支差額	234,605	7,276,544	7,041,939	
前期繰越収支差額	12,676,228	12,910,833	234,605	
次期繰越収支差額	12,910,833	20,187,377	7,276,544	

収支計算書に対する注記

1 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収入金、立替金、前払金、未払金、前受金、預り金を含めている。

なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。



2 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	24,956,348	32,547,518
未収入金	0	0
立替金	0	0
前払金	0	0
合計	24,956,348	32,547,518
未払金	71,000	71,000
前受金	11,886,000	12,173,000
預り金	88,515	116,141
合計	12,045,515	12,360,141
次期繰越収支差額	12,910,833	20,187,377

令和3年4月13日

監査報告書

一般社団法人 広島県臨床検査技師会
会長 森田 益子 殿

監事 水野誠士 
監事 榎本 健 

私たち監事は、令和2年4月1日から令和3年3月31日までの理事の職務執行を監査した。その方法および結果について、次のとおり報告する。

1. 監査の方法およびその内容

各監事は、理事および使用人等と意思疎通を図り、情報の収集および監査環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事および使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決算書類等を閲覧し、業務および財産の状況を調査した。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告およびその附属明細書について検討した。さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係わる計算書類（貸借対照表および正味財産増減計算書）およびその附属明細書について検討した。

2. 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告およびその附属明細書は、法令および定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認める。
- ② 理事の職務の執行に関する不正行為または法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められない。

(2) 計算書類およびその附属明細書監査結果

計算書類およびその附属明細書は、法人の財産および損益の状況を全ての重要な点において適正に示しているものと認める。

(3) その他

予算申請書・意見要望書を提出したのちに、事業計画を変更する場合は、改めて事業計画と予算申請書・意見要望書を作成し変更すること。

以上

第4号議案 令和3年度事業方針案

<総括>

今年度も、新型コロナウイルス感染の感染予防に留意しながら以下の活動を行う。

① 広島県臨床検査技師会の創立70周年記念式典は、2021年2月27日に行う予定だったが、延期し2021年9月4日に行う予定である。

② 会員資質向上と技師会組織の強化に努める。

学術団体・職能団体としての事業を推進するため、学術誌「広島臨床検査」を継続発行する。入会促進を図るとともにウェブサイト等の情報網を利用して組織強化に努める。また、「地域ニューリーダー実践講習会」や、「初級・職能開発講習会」を開催し地域、施設の中核となる技師の育成を目指す。

③ 臨床検査技師による医療、公衆衛生、社会的認知度を向上させる。

エイズ・ピンクリボンキャンペーン、県からの委託事業としてエイズ日曜検査などの公益活動を実施し、県民の医療および公衆衛生の向上に貢献する。また、「検査と健康展」や市民公開講座の開催などを通じて社会的認知度を向上させる。

④ 精度管理、標準化、検査データの共有化事業を推進する。

行政および関連団体との連携強化を図り、精度管理や標準化事業を推進し、病院検査室や地域医療に貢献する。

⑤ 災害などの対応強化を図る

自然災害や感染症などが発生した場合の対応マニュアルを作成する。

⑥ 臨床検査技師養成教育の変更に対応する。

臨床検査技師養成や教育研修制度等の変更に伴い、臨地実習担当者育成研修会等の開催を支援する。

⑦ 医師の働き方改革やタスクシフト/シェアなどの医療法改正による対応

新たに臨床検査技師は8業務が認められる予定であり、講習会や実技講習会の開催を支援する。

⑧ 2022年度中四国医学検査学会が広島県での開催予定であるため、実行委員会を設置し準備を行う。

<事務局>

1) 事務局体制の維持と管理

- ・事務局運営規定に則り業務を遂行する。
- ・日臨技総合情報システム（JAMTIS）を利用し会員情報の維持・管理を行う。
- ・新着情報、その他各種情報の即時発信に努める。

2) 技師会活動の連携体制を維持

- ・各部間の円滑な運営に協力するとともに、日臨技と連携を図り共同事業の円滑な開催を支援する。
- ・Webexを利用したWeb研修会、会議、学会等の開催が可能な環境を維持する。

3) 常務理事会および理事会の開催

- ・常務理事会を12回（原則的に毎月第1木曜日）、理事会を5回以上開催する。

4) 定期総会の開催

- ・定款の規定に基づき、総会を年1回開催する。

- ・電磁的議決権行使を可能な限り実施する。
- 5) 新春祝賀会の開催
 - ・新型コロナウイルス感染状況を見極めつつ、社会状況を考慮したうえで開催を判断する。
 - 6) 情報システムの管理
 - ・データ管理の更なる強化のため、nextcloud の利用を推進する。
 - ・OA 機器の円滑な運用の推進、ソフトウェアの統括的な管理を行う。
 - ・ウェブサイト、メールマガジンを利用して会員へ円滑な情報提供を行う。
 - ・ウェブサイトの安定的な運用のための教育、人材育成に努める。
 - 7) 2021 年 9 月広島県臨床検査技師会創立 70 周年記念式典を開催する。
 - 8) グレイスビルの老朽化に伴う、今後の事務所の維持問題を検討する。

<学術部>

- 1) 日本臨床検査技師会学術組織設置要綱に準じて 9 部門体勢で活動を行うこととする。

生物化学分析部門，臨床一般部門，臨床血液部門，臨床微生物部門，輸血細胞治療部門，
病理細胞部門，染色体・遺伝子部門，臨床生理部門，臨床検査総合部門

- 2) 学術部門の活動

コロナ禍での活動を優先的に考慮し，以下の成果達成に向け企画を考案する。

- ・ 臨床に役立ち，良質な検査室づくりに寄与できる臨床検査技師育成を支援する。
- ・ 会員の生涯教育を目的に研修会，講習会を開催する。
- ・ 各種認定および資格の取得へ向けて情報提供と支援を行う。
- ・ 日臨技が開催する学会，研修会を支援する。
- ・ 各部門における学術研究，疫学調査の推進および支援をおこなう。
- ・ 賛助会員への学術支援の要請，協力体制を図る。

- 3) 生涯教育講座の開催

生涯教育委員会を中心に広島地区および東部地区で生涯教育講座を開催する。

- 4) 医学検査学会の開催

第 39 広島県医学検査学会の開催を支援する。

- 5) 精度管理事業

広島県医師会共催の精度管理事業は精度管理委員会を中心に実施・分析評価を行い、行政及び関連団体と連携強化も推進する。

標準化委員会を中心に臨床検査データ標準化事業を推進し、検査データの共有化を図り、地域医療に貢献する。

6) 会員の業績向上への支援

学術団体としての事業を推進、学術誌「広島臨床検査」継続的発刊に伴う査読や学会発表・論文投稿などを含め会員の業績を積極的に支援し、医療人としての人材育成に努める。

学術誌編集委員会を中心に学術誌「広島臨床検査」を広報部と連携し発刊する。

<経理部>

- 1) 公認会計士の指導のもと経理事務体制を維持し、一般社団法人に適用する会計基準で会計処理を行う。
- 2) 当技師会の各部局、各地区の運営及び学会・研修会等の活動が円滑に行えるよう財政面から支援する。
 - ・令和3年度の収支予算書(案)を別紙に示した。
 - ・各事業・活動は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けることも考えられるが、前年度の予算額と申請額から予算案を策定した。
- 3) 昨年度、開催を延期した設立70周年記念事業に備え、準備金の確保に努める。
- 4) 災害時の会員への見舞金や被災者へ公益活動の実施、また、感染症拡大時の対策に備え、準備資産の取得を行う。
- 5) 令和3年度も継続して会計事務の簡素化を行う。

<渉外・法規部>

- 1) 公益事業の開催
 - ・エイズキャンペーン、ピンクリボンキャンペーン、がん検診へ行こうよ、県民フォーラムなど公共団体が実施する保健事業に協力し、県民の健康・福祉の増進を目的とした講演会開催など公共事業の拡大と推進を図る。また会員ボランティアの組織づくりを行う。
- 2) 全国「検査と健康展」の開催
 - ・日臨技が国民の健康づくりの意識の高揚を図ることを目的に全国で展開する「検査と健康展」を実施する。
- 3) 各種表彰推薦
 - ・会員及び各理事の協力を得て、対象者の表彰に対応する。
- 4) 無料職業紹介事業
 - ・広臨技ウェブサイトを利用し、より多くの臨床検査技師に職業紹介を行う。
- 5) 広島県エイズ日曜検査事業及び相談事業(広島県からの委託事業)
 - ・日曜検査事業は、HIV検査をより多くの県民が受けやすい環境を作るため、無料匿名による検査を毎月第3日曜日(6月、12月は第1日曜日と第3日曜日)に県立広島病院にて実施する。
 - ・日曜相談事業は、正しい知識の普及、県民の不安の解消、患者・感染者に対する偏見の除去および日曜検査の予約を実施する。
- 6) その他渉外、法規、厚生に関すること

- ・臨床検査技師の地位向上と、業務拡大などを旨として法改正運動などを後押しするために、連盟加入の促進を努力する。また、一般市民に対して臨床検査技師の紹介を実施する。

<組織調査部>

1) 地区活動

- ・会員相互の親睦のためのイベントを開催する。
- ・各地区において、生涯教育研修の計画、地域保健事業などの活動へ参画し、実施する。

2) 組織力の強化

- ・技師会への入会促進や新入会員オリエンテーションを開催し、臨床検査技師としての意識向上を図る。
- ・県学会で「会員のための情報交換会」を開催し、広臨技からの情報提供を行う。
- ・臨床検査技師としての意識向上と人材育成を図る目的で、卒後3～5年の会員を対象に「初級・職能開発講習会」を開催する。
- ・経験年数15年から21年の臨床検査技師を対象に「広島県ニューリーダー育成研修会：第3回」を開催し、技師会や組織内でリーダーシップを発揮できるリーダー育成を図る。
- ・厚生労働省の「臨床検査技師学校養成所カリキュラム等改善検討会」の報告書において、2024年度より臨地実習指導者が配置されている病院等を実習先とすることが求められ、臨床検査技師学校養成所指定規則等にその規定が明記される予定であることに対応するため、中四国支部での臨地実習指導者講習会開催を支援する。
- ・医師の時間外労働軽減のための、「臨床検査技師に対するタスクシフト/シェア業務啓発事業推進」目的の研修会を開催する。

3) 会員への支援活動

- ・会員専用の情報配信ツール（メーリングリスト、メールマガジンなど）での支援を行う。

<広報部>

1) 速報の発行（継続事業）

- ・昨年度同様、速報PDF版を毎月1回発行し、広臨技ウェブサイトからダウンロードできるようにする。
- ・公益事業をはじめとする事業活動報告や研修会の案内、理事会報告などの技師会活動や医療、検査に関する情報をタイムリーに提供できるように努める。

2) 学術誌「広島臨床検査」の発行（継続事業）

- ・学術誌「広島臨床検査」の広告募集をサポートし、学術誌「広島臨床検査 Vol.10」を当会会誌として年1回発行する。

3) 会報の発行（継続事業）

- ・年間の技師会活動をとりまとめることを主体に当会活動記録 Vol.50 No.2として、また「第39回広島県医学検査学会抄録集」vol.51 No.1として、年2回発行する。

4) 広臨技ウェブサイトと情報発信（継続事業）

- ・事務局、ウェブサイト委員会、情報システム委員会と協力し、広臨技ウェブサイトの機能を利用し、会員向け情報を充実させ、継続して発信していく。

第5号議案 令和3年度予算案

収支予算書(案)

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位:円)

科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
(1) 基本財産運用収入	0	0	0	
(2) 会費収入	15,085,000	15,175,000	△ 90,000	
① 正会員会費収入	12,950,000	12,950,000	0	7,000円×1,850人
② 県会員会費収入	35,000	35,000	0	7,000円×5人
③ 賛助会員会費収入	2,100,000	2,190,000	△ 90,000	30,000円×70社
(3) 事業収入	5,510,000	6,180,000	△ 670,000	
① 公益受託事業収入	2,560,000	2,560,000	0	HIV日曜検査
② 広島県医学検査学会事業収入	450,000	450,000	0	展示・広告収入
③ 学術事業収入	200,000	200,000	0	実技演習会・研修会テキスト代
④ 生涯教育事業収入	0	720,000	△ 720,000	
⑤ 組織調査事業収入	150,000	100,000	50,000	初級職能・ニューリーダー研修会参加費
⑥ 広報事業収入	500,000	500,000	0	広告料 会報250,000円・学術誌250,000円
⑦ 表彰・祝賀会事業収入	1,650,000	1,650,000	0	新春祝賀会会費 10,000円×150名 ・表彰祝賀会費150,000円
(4) 補助金等収入	1,250,000	1,200,000	50,000	
① 県助成金収入(学術事業)	100,000	100,000	0	医療技術者研修事業等補助金
② 日臨技公益委託事業受託収入	500,000	500,000	0	検査と健康展 500,000円
③ 日臨技助成金収入	650,000	600,000	50,000	議決権委託150,000円、推進事業研修会500,000円
(5) 雑収入	10,500	10,500	0	
① 受取利息	500	500	0	
② 雑収入	10,000	10,000	0	文献権利承諾使用料
事業活動収入計	21,855,500	22,565,500	△ 710,000	
2. 事業活動支出				
(1) 事業費支出	20,342,000	21,450,000	△ 1,108,000	
① 公益受託事業費支出	4,360,000	4,390,000	△ 30,000	レッドリボン、ピンクリボン、HIV日曜検査、検査と健康展、県民フォーラム
② 広島県医学検査学会事業費支出	1,702,000	2,202,000	△ 500,000	
③ 学術事業費支出	4,190,000	3,890,000	300,000	学術誌発行費1,000,000円、日臨技システム使用料100,000円 他
④ 生涯教育事業費支出	384,000	735,000	△ 351,000	
⑤ 組織運営事業費支出	2,082,000	2,109,000	△ 27,000	組織調査部・地区活動費 他
⑥ 教育研修事業費支出	0	0	0	
⑦ 広報事業費支出	981,000	1,481,000	△ 500,000	会報印刷 800,000円
⑧ 表彰・祝賀会事業費支出	6,643,000	6,643,000	0	新春祝賀会、表彰祝賀会
(2) 管理費支出	5,270,000	4,730,000	540,000	webサイト維持費400,000円・webex meetingsライセンス料210,000円他
事業活動支出計	25,612,000	26,180,000	△ 568,000	
事業活動収支差額	△ 3,756,500	△ 3,614,500	△ 142,000	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
(1) 特定資産取崩収入	2,000,000	2,000,000	0	
① 設立70周年記念事業引当資産取崩収入	2,000,000	2,000,000	0	
投資活動収入計	2,000,000	2,000,000	0	
2. 投資活動支出				
(1) 固定資産取得支出	0	0	0	
① 什器備品購入支出	0	0	0	
(2) 特定資産取得支出	2,000,000	0	2,000,000	
① 事務所維持特定預金取得支出	1,000,000	0	1,000,000	
② 特定費用準備資産取得支出	1,000,000	0	1,000,000	
投資活動支出計	2,000,000	0	2,000,000	
投資活動収支差額	0	2,000,000	△ 2,000,000	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出	0	0	0	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出				
当期収支差額	△ 3,756,500	△ 1,614,500	△ 2,142,000	
前期繰越収支差額	20,187,377	12,910,833	7,276,544	
次期繰越収支差額	16,430,877	11,296,333	5,134,544	

収支予算書（案）

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

（単位：円）

	実施事業等会計(公益事業)						その他会計					法人会計 (管理費)	内部 取引 控除	合計	
	公益受託事業	広島県医学 検査学会 事業	学術事業	生涯教育 事業	共通	小計	地区活動 組織調査 東部・北部・呉・ 東広島・広島地区	広報事業	表彰 祝賀会事業	共通	小計				
1.経常増減の部															
(1)経常収益															
① 基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
② 受取会費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15,085,000	0	15,085,000	0
③ 事業収益	2,560,000	450,000	200,000	0	0	3,210,000	150,000	500,000	1,650,000	0	2,300,000	0	0	5,510,000	0
④ 受取補助金等	500,000	600,000	0	0	0	1,100,000	0	0	0	0	0	150,000	0	1,250,000	0
⑤ 雑収益	0	0	10,000	0	0	10,000	0	0	0	0	0	500	0	10,500	0
⑥ 他会計からの繰入額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常収益計	3,060,000	450,000	810,000	0	0	4,320,000	150,000	500,000	1,650,000	0	2,300,000	15,235,500	0	21,855,500	0
(2)経常費用															
① 事業費・管理費	4,360,000	1,702,000	4,190,000	384,000	0	10,636,000	2,082,000	981,000	6,643,000	0	9,706,000	5,560,000	0	25,902,000	0
給料手当	1,900,000	0	0	0	0	1,900,000	0	0	0	0	0	1,500,000	0	3,400,000	0
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30,000	0	30,000	0
会議費	30,000	150,000	160,000	30,000	0	370,000	530,000	20,000	2,000,000	0	2,550,000	230,000	0	3,150,000	0
活動費	360,000	0	240,000	0	0	600,000	210,000	40,000	50,000	0	300,000	0	0	900,000	0
旅費交通費	60,000	100,000	800,000	70,000	0	1,030,000	345,000	120,000	15,000	0	480,000	200,000	0	1,710,000	0
通信費	300,000	2,000	30,000	0	0	332,000	27,000	1,000	3,000	0	31,000	200,000	0	563,000	0
運搬費	10,000	0	150,000	2,000	0	162,000	50,000	0	0	0	50,000	200,000	0	412,000	0
消耗什器備品費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100,000	0	100,000	0
消耗品費	760,000	0	520,000	10,000	0	1,290,000	95,000	0	25,000	0	120,000	150,000	0	1,560,000	0
印刷製本費	50,000	500,000	1,200,000	0	0	1,750,000	25,000	800,000	0	0	825,000	430,000	0	3,005,000	0
光熱水料費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100,000	0	100,000	0
諸謝金	20,000	200,000	550,000	240,000	0	1,010,000	250,000	0	0	0	250,000	600,000	0	1,860,000	0
諸会費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10,000	0	10,000	0
会場費	100,000	600,000	370,000	32,000	0	1,102,000	360,000	0	200,000	0	560,000	0	0	1,662,000	0
支払助成金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受託事業費	100,000	0	0	0	0	100,000	0	0	0	0	0	0	0	100,000	0
国際交流事業費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
広告費	110,000	0	0	0	0	110,000	0	0	0	0	0	80,000	0	190,000	0
組織活動費	0	0	0	0	0	0	0	4,000,000	0	4,000,000	0	50,000	0	4,050,000	0
賃借料	300,000	0	0	0	0	300,000	0	0	0	0	0	340,000	0	640,000	0
支払手数料	0	0	100,000	0	0	100,000	0	0	0	0	0	20,000	0	120,000	0
調査費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事務所維持費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	710,000	0	710,000	0
租税公課	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	170,000	0	170,000	0
減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	290,000	0	290,000	0
雑費	260,000	150,000	70,000	0	0	480,000	190,000	0	350,000	0	540,000	150,000	0	1,170,000	0
② 他会計への繰出額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常費用計	4,360,000	1,702,000	4,190,000	384,000	0	10,636,000	2,082,000	981,000	6,643,000	0	9,706,000	5,560,000	0	25,902,000	0
当期経常増減額	△ 1,300,000	△ 1,252,000	△ 3,380,000	△ 384,000	0	△ 6,316,000	△ 1,932,000	△ 481,000	△ 4,993,000	0	△ 7,406,000	9,675,500	0	△ 4,046,500	0
2.経常外増減の部															
(1)経常外収益															
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2)経常外費用															
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 1,300,000	△ 1,252,000	△ 3,380,000	△ 384,000	0	△ 6,316,000	△ 1,932,000	△ 481,000	△ 4,993,000	0	△ 7,406,000	9,675,500	0	△ 4,046,500	0

第6号議案 名誉会員の推薦に関すること

表彰審査委員会 田川豊政委員長より、会員に関する規定第6条に基づき、名誉会員として白石幸雄氏を推薦する。

白石幸雄氏 略歴

平成6年度から平成11年度 副会長
平成11年 第48回日本医学検査学会 実行委員長
平成12年度から平成15年度 会長
平成13年 広島県臨床検査技師会創立50周年記念式典の開催
平成13年 加藤勝也賞受賞
平成20年 厚生労働大臣表彰、第27回福見秀雄賞受賞

一般社団法人 広島県臨床検査技師会
令和3年度 定期総会資料

令和3年4月20日

発行責任者	森田 益子 一般社団法人 広島県臨床検査技師会
編集・発行 事務所	〒730-0013 広島市中区八丁堀 6-10 グレイスビル 801 号 一般社団法人 広島県臨床検査技師会 事務所 TEL 082-502-6011 FAX 082-502-6031 URL http://www.hiroringi.or.jp/ E-mail info@hiroringi.or.jp
印刷所	可部印刷株式会社 〒731-0221 広島市安佐北区可部三丁目 43-7 TEL 082-814-2065 FAX 082-814-3569